

（公立大学法人 岩手県立大学） 岩手県立大学宮古短期大学部「会計学」分野教員募集要項

- 1 職名：准教授又は講師
- 2 所属：岩手県立大学宮古短期大学部（経営情報学科）
- 3 募集定員：1名（任期なし：常勤，定年：65歳＝満65歳の誕生日から最初の3月31日が定年退職日です）
- 4 専門分野：会計学
- 5 担当科目：1年次前期〔会計学〕（初学者を対象とした会計学概論）
同後期〔簿記論Ⅱ〕（おおよそ日商簿記3級後半程度）
2年次前期〔簿記論Ⅲ〕（おおよそ日商簿記2級商業簿記程度）
同後期〔会計学応用〕（近年に進展した会計学各論）

【注1】上記各科目は平成30年度開始『新教育課程』科目です。上記科目とともに全学期にゼミ科目（学期配当等下掲）を担当いただきます。『新課程』2年次科目開始は平成31年度（平成30年度は〔会計学応用〕開始前）なので，平成30年度後期担当は〔簿記論Ⅱ〕1科目です。

ゼミ科目 = 1年前〔入門ゼミ〕 1年後〔基礎研究〕 2年通年〔特別研究Ⅰ〕 2年後〔特別研究Ⅱ（卒業論文）〕

- 6 採用予定日：平成30年10月1日
- 7 応募締切日：平成30年5月8日（火曜日）必着
- 8 選考：書類選考のうえ面接を行います。面接に係る旅費等は自己負担になります。ご了承ください
- 9 応募資格：以下の①～⑦のすべてに該当する方

- ①会計学分野において大学院修士課程（博士前期課程）修了以上の学歴の者
（財務会計論専攻が望ましい）
- ②日本商工会議所簿記検定2級（以上）合格者
- ③学生の教育に熱意を持って取り組める者
- ④就職支援や編入学指導の進路支援に積極的に取り組める者
- ⑤簿記検定をはじめとする資格取得対策など課外指導に積極的に取り組める者
- ⑥委員会活動など大学運営業務に積極的に取り組める者
- ⑦社会貢献・地域貢献に積極的に取り組める者

【注2】日本語を母語としない方は，授業及び学内外の諸業務に支障のない日本語能力を有すること

【注3】「学校教育法」第9条の規定により，次の[1]～[3]いずれかに該当する方は採用できません

[1] 成年被後見人又は被保佐人

[2] 禁固以上の刑に処せられた者

[3] 日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し，またはこれに加入した者

- 10 提出書類：以下の(1)～(7)のすべてをご提出いただきます

(1) 履歴書 ※本学所定様式(MS Word)使用※（応募者本人顔写真—上半身・正面・無帽，横4cm×縦5cm—貼付）

(2) 教育研究業績書 ※本学所定様式(MS Excel)使用※（様式とともに公開する「作成法」に従って作成願います）

【注4】(1)履歴書と(2)教育研究業績書は，JREC-INまたは本学ウェブサイトから様式をダウンロードして作成願います

(3) 当該分野の最終修了大学院の修了証明書（原本），および，当該分野の学位記（修士または博士）のコピー

(4) 応募時点から過去10年以内の代表的研究業績＝著書，論文の抜き刷り（コピー可）＝計3編・各4部

【注5】著書は原書1冊と，扉・目次・中心の1～2章分・奥付の各コピー3部の計4部。論文は全文を4部

(5) 日本商工会議所簿記検定最高合格級の，「合格証書」コピー，もしくは，「合格証明書」（原本）

(6) 短期大学における会計学及び簿記論の教育に関する見解（A4判用紙。日本語により600字以内）

(7) 推薦書1通（様式任意＝推薦者のご所属・職位・お名前を明記してください）

【注6】[1] 必要に応じて別途資料を提出していただくことがあります [2] 応募書類記載の個人情報は採用選考以外の目的で使用することはありません [3] 応募書類は返却しません（著書原書は返却）

- 11 書類提出先：〒027-0039 岩手県宮古市河南1-5-1 岩手県立大学宮古短期大学部事務局

- 12 書類提出方法：上記提出書類一式を封筒に入れ、封筒の表に「会計学教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください
- 13 問い合わせ先：〒027-0039 岩手県宮古市河南1-5-1 岩手県立大学宮古短期大学部事務局 長崎
電話： 0193-64-2230 E-mail: nagasaki@myk-office.iwate-pu.ac.jp
- 14 備考：「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、女性の積極的な応募を歓迎します (以上)

岩手県立大学宮古短期大学部（平成30年4月）

「教育研究業績書」作成法

～ 様式の [注2] に説明のとおり、この「作成法」により「教育研究業績書」を作成してください～

1 「氏名」欄

「氏名」の欄は、様式中の [注1] に説明のとおり、本人が自署のうえ、押印してください。

2 「研究分野」欄および「研究内容のキーワード」欄

2-1 「研究分野」欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。

「研究内容のキーワード」欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。

2-2 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（「大学設置基準」第15条第5号＝准教授関連＝，同第16条＝講師関連＝に該当する者）の場合には、「研究分野」欄に「に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。

3 「教育上の能力に関する事項」欄および「職務上の実績に関する事項」欄

3-1 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力および職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

3-2 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

3-3 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

3-4 「教育上の能力に関する事項」の例

3-4-1 「1 教育方法の実践例」について

授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
司法研修所等の教育機関における教育経験

3-4-2 「2 作成した教科書, 教材」の例

授業や研修指導等で使用する著書, 教材等

3-4-3 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

採用決定の際等における評価内容

各大学における自己点検・評価での評価結果

学生による授業評価, 教員による相互評価等の結果

3-4-4 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

大学から受け入れた実習生等に対する指導

職能団体の依頼による研修指導等

研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修

大学の公開講座や社会教育講座における講師, シンポジウムにおける講演等

3-4-5 「5 その他」

大学教育に関する団体等における活動, 教育実績に対する表彰等

国家試験問題の作成等

3-5 「職務上の実績に関する事項」の例

3-5-1 「1 資格, 免許」

教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

3-5-2 「2 特許等」

特許, 実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

3-5-3 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

大学との共同研究

研究開発等の担当実績

各種審議会・行政委員会, 各種ADR等の委員

行政機関における調査官等

研究会・ワークショップ等での報告や症例発表

調査研究, 留学, 海外事情調査等

上記を裏付ける報告書, 手引書, マニュアル, 雑誌等

3-5-4 「4 その他」

職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

論文の引用実績等

3-6 資格の証明書, 雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

4 「研究業績等に関する事項」欄

4-1 「研究業績等に関する事項」には、当書面作成時において未発表＝未公開のものは記入できません。

4-2 「著書、学術論文等の名称」の項について

4-2-1 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

4-2-2 著書については、書名を記入してください。

4-2-3 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。ここには、学位論文（修士論文、また、博士論文）も記載し、修士論文、また、博士論文である旨、および、提出～審査大学院名を明記してください。

4-2-4 その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

4-2-5 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付き)」と、また、査読なしの論文については、題名の後に「(査読なし)」と記載してください。

なお、学位論文（修士論文、また、博士論文）は、「査読付き」の論文となります。

4-3 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。

4-4 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

4-5 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

4-5-1 著書については、発行所を記入してください。

4-5-2 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

4-5-3 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

4-6 「概要」の項について

4-6-1 当該著書等の概要を各々1編につき200字程度で記入してください。

4-6-2 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと）を含め、著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。

本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

外国語で著された論著は、その外国語で記入するとともに、（ ）内に訳文を記入してください。

(以上)